



ネコはどうしてネズミを^お追いかけるの

動くものは何でもつかまえようとする

ネコは、トラやライオンと同じ仲間の肉食動物です。人間に飼われるようになる前の大昔は、野生動物として山などにすみ、自分でつかまえられる小動物をえさにして、生きていました。ネコの先祖は、アフリカのリビアネコというヤマネコだ、といわれています。

子ネコでも、目の前で草のネコジャラシや、ひもなどをゆらゆら動かすと、ぱっと飛びついてきます。ネコは、ものかげにかくれてチャンスをうかがい、チョウやスズメをねらって空中に飛び上がったり、小鳥のひなをおそったり、金魚をさらったりするなど、野性のかりをする性質が、まだ残っています。

ネズミは、身近で手ごろな食べ物

家で飼われるようになったネコにとって、昔はこの家にもいたネズミは、ねらいやすい「獲物」だったのです。ネズミは、脂肪が多くておいしく、大きさも手ごろですからね。お母さんネコがネズミをとるのが上手だと、子ネコも、ネズミ取りがうまいネコに育っていきます。最近のネコは、ネズミはつかまえるけど、自分では食べないことも多いようです。小さいときから、ネズミといっしょに育てられたネコは、自分の仲間だと思って、ネズミをとらないことが多いのです。（監修・今泉 忠明）

